

2020年9月期(第2四半期)

決算説明資料

株式会社リアルワールド
東証マザーズ 3691



2020年5月14日



01 エグゼクティブ・サマリー 4



02 FY2020第2四半期決算概要 12



03 今後の取り組み 16



04 Appendix 21

業績予想、四半期決算発表説明会の開催時期等に関するご案内

四半期決算発表説明会の開催時期に関しまして

新型コロナウイルスの影響を踏まえ、四半期決算説明会に関しましては、第2四半期での開催を延期し、現時点では、第3四半期決算発表後に決算発表説明会を開催することを予定しております。ただし、第3四半期決算発表時の社会情勢等を踏まえ時期・形式が変更になる場合がございます。

業績予想・当社ビジョンの発表に関しまして

2020年9月期の業績予想については、新型コロナウイルス拡大に伴う経済活動への影響によりお客様の需要や営業活動の回復時期など見通しを立てることが容易でないこと、及び、変化するスピードが激しい経営環境において、より成長性の高い事業領域にリソースを投下することを目的として、戦略的な選択と集中を推し進めていることから、現時点で合理的に算定することが困難であり記載しておりません。

なお、2020年度中をめどに中長期の戦略をまとめた当社ビジョンの発表を計画しておりますが、昨今の日々目まぐるしく状況が変わる環境をふまえ、発表時期・形式等が変更となる場合がございます。

01 エグゼクティブ・サマリー



Executive Summary



ネットがリアルを食ってはいけない。
ネットが人を孤独にしてはいけない。
ネットがコミュニケーションを断ち切ってはいけない。

人に役立つはずのネットが
人を消耗させてはいけない。

食べること、笑うこと、話すこと、
動くこと、お金を得ること。
人が生きていくためのライフラインになれないなら、
ネットなんて必要ない。

新しい時代の、
新しいリアリティを創っていこう。

それがリアルワールドの
自分たちへの、そして社会への責任。

ネットからリアルへ。

選択と集中 ～労働集約モデルからの脱却～ 聖域なき抜本的見直しによる 事業ポートフォリオ転換

①BS・CF改善に注力した選択と集中

前期より
継続

②労働集約低粗利・縮小市場からの事業脱却

前期より
継続

③10年後も成長し続ける事業へ投資

今期より
開始

改革開始時
(FY2018)

FY2020
2Q

現預金等

投資原資を確保
過去最高水準に

13億円

株式売却などにより
8%増

14億円^{※1}

有利子負債

財務体質の大幅な改善

12億円

社債・借入金の返済により
66%減

4億円

販管費

固定コストを大幅削減

1億5,000万円/月^{※2}

子会社売却・オフィス移転などにより
73%削減

4,000万円/月

※1 短期貸付金含む
※2 FY2018連結販管費平均水準

事業譲渡の概要

財務体質強化の仕上げとして、市場が成熟、収益性が低下しているポイントアフィリエイトメディア事業の譲渡を決定

Gendama

対象事業：ポイントメディアサービス「Gendama(げん玉)」

運営会社：株式会社リアルX

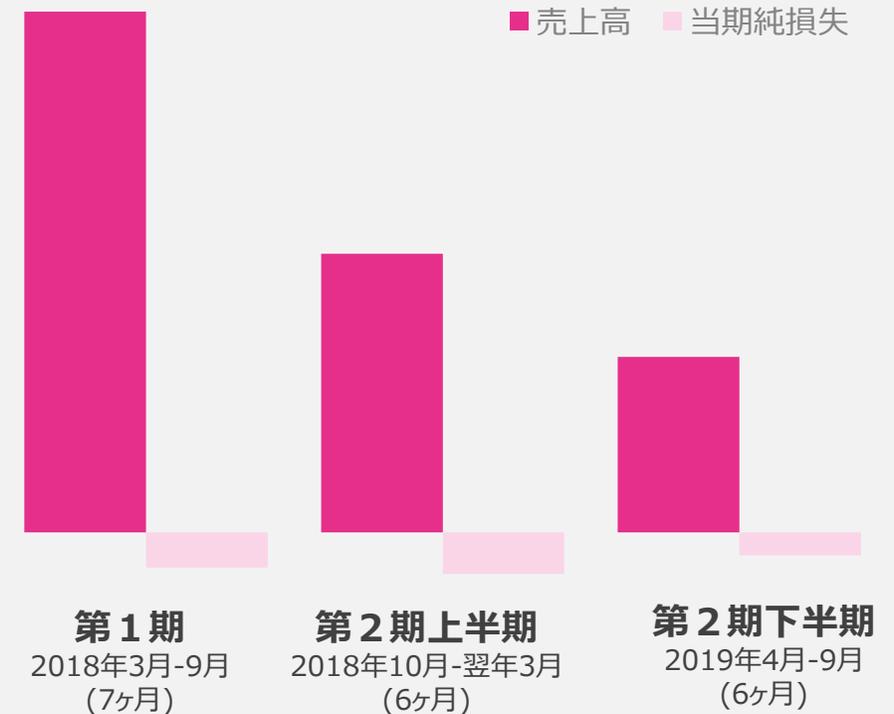
譲渡時期：2020年9月末までを目安

※譲渡に関する基本合意書をサイブリッジグループ株式会社と締結済(2月26日)

譲渡による効果(見込み)：

- 投資資金獲得
- 約2.3億円の負債圧縮
- 約1,000万人の会員基盤は継続保有

参考：Gendamaを運営するリアルXの経営成績



約1,000万人会員を継続保有しつつ、負債約2.3億円減少と現金・純資産増

2019年11月より新規事業AI Marketing(マーケティング支援事業)立上げ

これまでの 事業戦略

飲食店・美容院などをターゲットとしてサービスを提供

投資額 約6,000万円



新型コロナウイルスの影響拡大の中、実店舗への影響大
3月末で**対店舗営業等の投資を全面停止**、方針転換

転換方針

ターゲットを**個人・EC**に転換

申込1,000件超(3日間)

4月、新型コロナウイルス対策としてサービスの**無償提供キャンペーン**実施
オンラインでのコミュニケーションの重要性が増す中、SNSを活用したマーケティング支援事業の価値が高まっている

「稼ぎ方革命」を実現する、新たな収益基盤を生み出す取り組みとして

「投資銀行事業」を開始

① 既存事業の規模拡大、利益再投資による新規事業の成長加速

② ポートフォリオ確立によりリスク分散を図りながら強固な収益基盤を構築

**With・Afterコロナも見込んだ、新たな時代に求められる事業を
ゼロから生み出すと同時に、M&Aによって成長加速と早期黒字化を実現**

■ 当社取締役及び監査等委員並びに執行役員

代表取締役社長	菊池 誠晃
取締役 監査等委員（社外）	大塚 和成
取締役 監査等委員（社外）	半谷 智之
取締役 監査等委員（社外）	能勢 元
取締役 監査等委員（社外）	杉山 直也
執行役員 COO 兼 事業統括本部長	千葉 博文 NEW
執行役員 CFO 兼 グループ本部長	巢山 貴裕 NEW
執行役員 内部監査室長	樋口 隆康

■ 連結子会社 代表取締役

株式会社AI Marketing	千葉 博文 NEW
株式会社REAL FINTECH	巢山 貴裕 NEW
株式会社リアルX	千葉 博文
株式会社カチコ	深澤 智史

02 FY2020第2四半期決算概要

 Financial Result

前四半期比較

単位：百万円	第2四半期 2020年1月～3月	第1四半期 2019年10月～12月	前四半期比
売上高	169 ←	195	86%
売上総利益	57	71	79%
(売上総利益率)	33%	36%	-3pt
販売管理費	140 ←	113	124%
営業利益	▲84	▲41	－%
経常利益	▲81	▲36	－%
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲85	▲43	－%

前四半期比較

新型コロナウイルスの影響等により

売上高 14%減

新規事業・人材投資、
新型コロナウイルスによる一時的コスト増

営業コストなどの
販売管理費 24%増

連結損益計算書 (P/L)

単位：百万円	2020年9月期 第2四半期累積 (2019年10月～2020年3月)	2019年9月期第2四半期累積 (2018年10月～2019年3月)	前年同期比
売上高	365	1,841	20%
売上総利益	128	750	17%
(売上総利益率)	35%	40%	-5pt
販売管理費	253	954	27%
営業利益	▲125	▲203	-%
経常利益	▲118	▲201	-%
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲129	382	-%

事業の選択と集中、投資原資獲得を目的とした事業売却により、対前期比で売上高が大幅減少、合わせて営業損失も大幅に縮小

連結貸借対照表 (B/S)

単位：百万円	2020年9月期第2四半期末 (2020年3月31日時点)	2019年9月期末 (2019年9月30日時点)	前期末比
流動資産	1,675	2,026	83%
うち現金および預金	1,179	1,490	79%
固定資産	287	404	71%
総資産	1,962	2,431	81%
流動負債	689	980	70%
うちポイント引当金	274	299	92%
固定負債	73	123	59%
純資産	1,200	1,328	90%
負債及び純資産	1,962	2,431	81%

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等をFY2019期首から適用しており、繰延税金資産は固定資産に表示しております。

自己資本比率7pt改善、負債縮小(約3.4億円)・法人税支払等により現預金20%縮小

03 今後の取り組み

 Future Measures

稼ぎ方革命

在宅ワークの導入や、副業の解禁など、時間や場所にとらわれない働き方が確立されつつある現代。

しかし、「稼ぎ方」という点では、これまでの延長線上の稼ぎ方に従事する人が多く、新しい稼ぎ方により継続的に収入を得ることができている人はごく一部である。

我々はテクノロジーの力とマーケットに沿った事業を展開することで、根本的な稼ぎ方の改革を実現したい。

少額所得(副収入)を求める1,000万人の会員

 クラウドソーシング

Technology
テクノロジー

 AI

×

Growth Business
成長市場



テクノロジーを活用して「新たな稼ぎ方」を提供



AI Marketing

子会社 : AI Marketing株式会社
事業開始 : 2019年11月～
事業内容 : マーケティング支援事業

AI×クラウドソーシングで

「いいものを、伝えたい人に伝える」を 持続可能な形で支援

サービス概要

HOTARU

Instagram分析によるファン獲得支援

- ✓ 日々のアカウント状況を可視化
- ✓ アカウントクオリティ向上のためtips紹介
- ✓ 競合比較など上級者向け機能も充実

※2020年3月よりサービス名を「AI Marketing for Instagram」から「HOTARU」に変更しました



新型コロナウイルスの影響を踏まえ、
4/27にサービスの**無償提供**を実施。開始3日で
1,000件超の申込みを獲得

【巣ごもり中のEC、副業需要の拡大】インスタ分析でファン獲得を支援！
「HOTARU（ホタル）」の無償提供を開始

🕒 2020年4月30日 15時00分

株式会社リアルワールド（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証マザーズ：証券コード 3691 以下「当社」）の子会社である株式会社AI Marketing（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、以下「AI Marketing」）は、ファン獲得支援ツール「HOTARU（ホタル）」の無償提供を開始いたしました。



お客様離れの不安とたたかう、全ての店舗・法人様へ

いまこそ、「お客様とのonlineコミュニケーションを支援したい！」

お客様とのつながりを大切にしたいとお考えの店舗・企業様に、
新規顧客の獲得・既存顧客のファン化を支援するInstagramツールを無償提供します



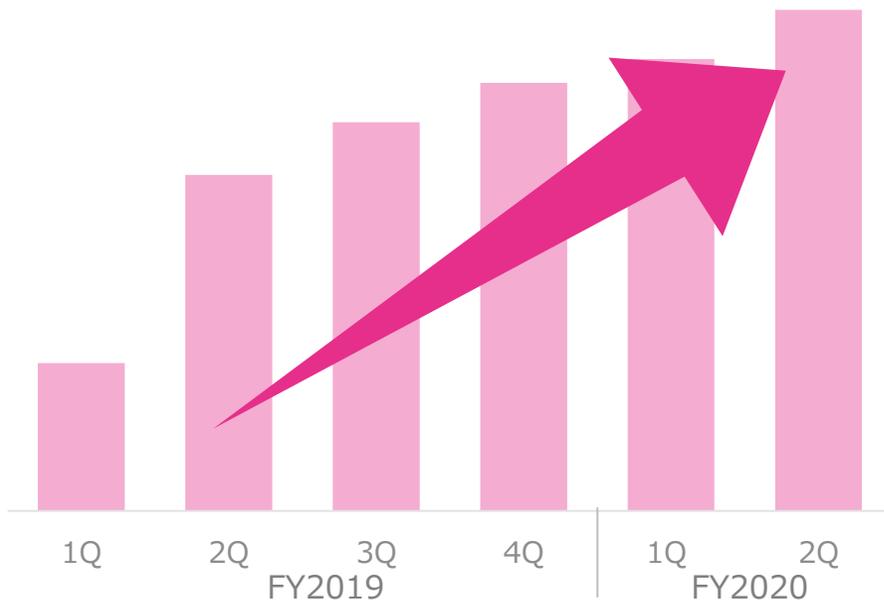
オンラインコミュニケーションの重要性が高まる中、EC・個人向けにファン獲得支援を行う
これからの時代に求められる価値にフォーカスしたことで3日で1,000件の申込みを獲得

カチっとムービー!

サービス概要

- ・社内リソース不要で**丸投げできる動画制作サービス**
- ・大手広告代理店・メディア様、大手スポーツメーカー様、大手タイヤメーカー様など制作実績多数

動画制作本数実績 (全体累積)

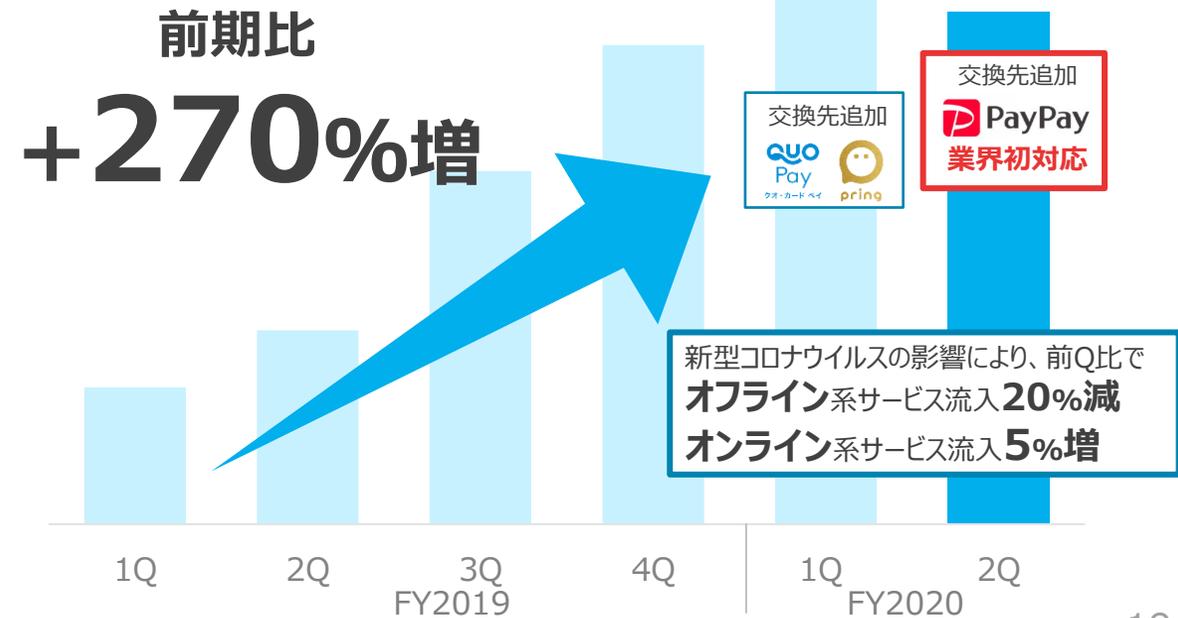


Rea:Pay

コンセプト

- ・現金より価値ある通貨を生み出す
- ・**新しい稼ぎ方の報酬提供インフラ**に

RealPay外部からのポイント流入額推移



暮らすこと、働くこと、新しいこと

ネットを通じて社会の基盤をつくる

ネットからリアルへ。

REALWORLD



04 Appendix

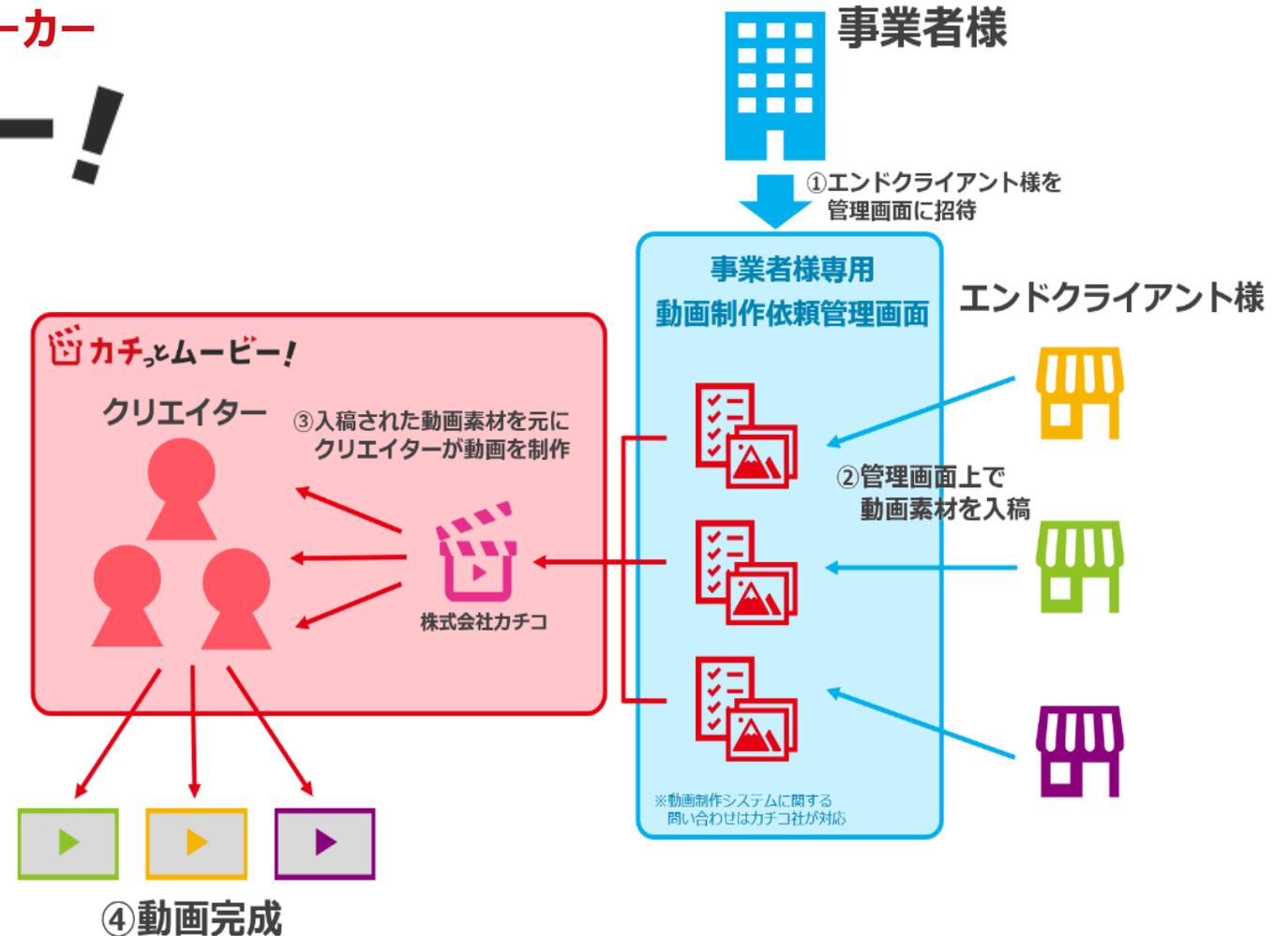
社内リソース不要で丸投げできる動画メーカー カチッとムービー!

サービス概要

- 動画を**1本1万円未満**で制作できる
オンライン動画制作ツール
- **クラウドワーカーを活用**し 早く、安く、
高品質な動画を提供

事業展開

- **5G時代**を見据え仕組み化を推進
- **大手広告代理店**と連携し一気にアプローチ
できる体制に



Rea:Pay

コンセプト

- ・現金より価値ある通貨を生み出す
- ・新しい稼ぎ方の**報酬提供インフラ**となる

- 10月 交換先 pring追加
- 12月 交換先 QuoカードPay追加
- 1月 QuoカードPay還元キャンペーン実施
- 4月 交換先 PayPay追加
- 4月 一部サービスデザイン改修

交換先として  PayPay を追加し、
キャッシュレス利用がさらに便利に

プレスリリース

店舗テイクアウトでも、ECでも使えるスマホ決済アプリ
「PayPay」と業界初のリアルタイム交換を開始。

2020.04.21

株式会社リアルワールド（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証マザーズ：証券コード 3691 以下「当社」）および、子会社である株式会社REAL FINTECH（代表取締役社長：巢山 貴裕、本社：東京都渋谷区）が運営する「RealPay（リアルペイ）」にて、インターネットサービス、コンビニや飲食店など全国200万カ所以上※1にて利用可能な、「PayPay（ペイペイ）」を交換先として新たに追加いたしました。今回交換先に追加したPayPayは、これまで毎月お得なキャンペーンを実施しており、また、昨今新型コロナウイルスの影響が拡大する中で、ネットショッピングや飲食店でのテイクアウトシーンでも利用可能です。RealPayは、ライフスタイルに応じた各種交換先の拡充を今後も更に進めてまいります。

Rea:Pay   PayPay



多様化する新しい稼ぎ方の報酬提供インフラとして、流通総額最大化を目指す

マーケティング支援事業「AI Marketing」

対面のコミュニケーションが困難になる中で、 オンラインコミュニケーションの重要性が一層高まる

SNSなどのコミュニティ化された情報発信が広がることで、
店舗の個性を必要とする人に鮮度良く情報を届け、
お店の“ファン”に対して直接発信・コミュニケーションが可能に



SNSが浸透し、情報は「ググる」時代から
タグ検索で「タグる」時代に

SNS浸透による社会の変化

Good

- ・多くのお店が直接お客様に情報を伝えられるように
- ・小さなキャンペーなどの情報もリアルタイムで届けられるように

一方で

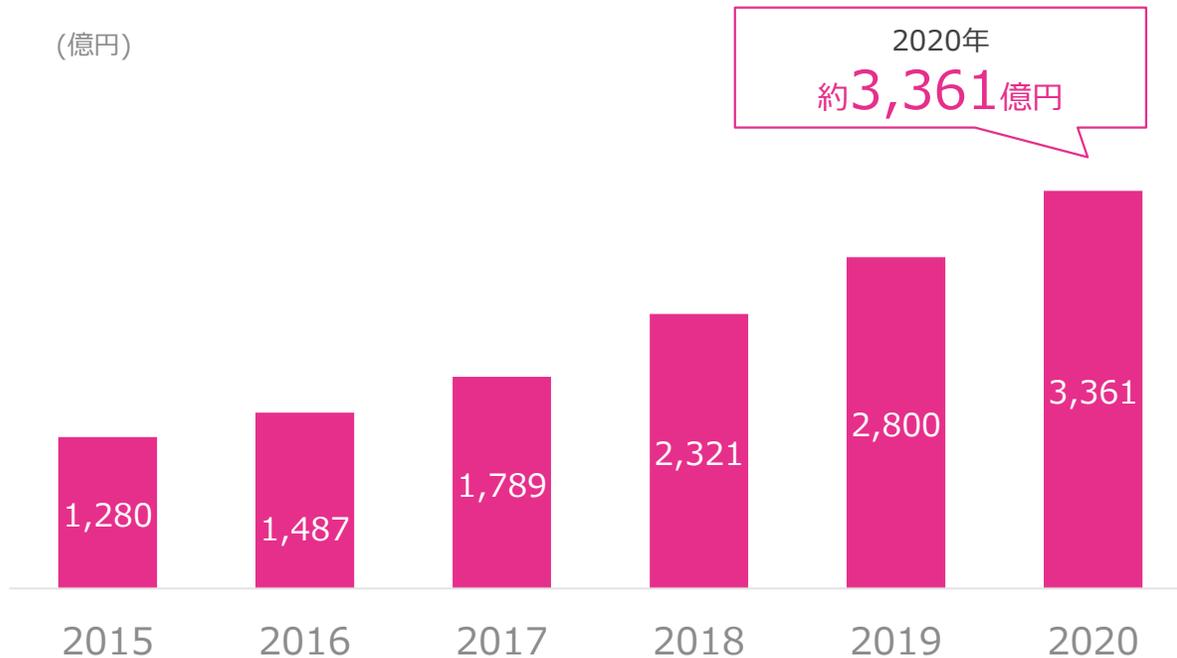
- ・SNSでの情報発信は運用が大変。ノウハウが必要などの課題も
- ・運用を支援するコンサル業者は労働集約となり高価

新型コロナウイルスの影響拡大を踏まえ、
実店舗向けサービスに加え、EC・個人向けにも展開を強化

動画事業のマーケット環境

デジタルサイネージ市場

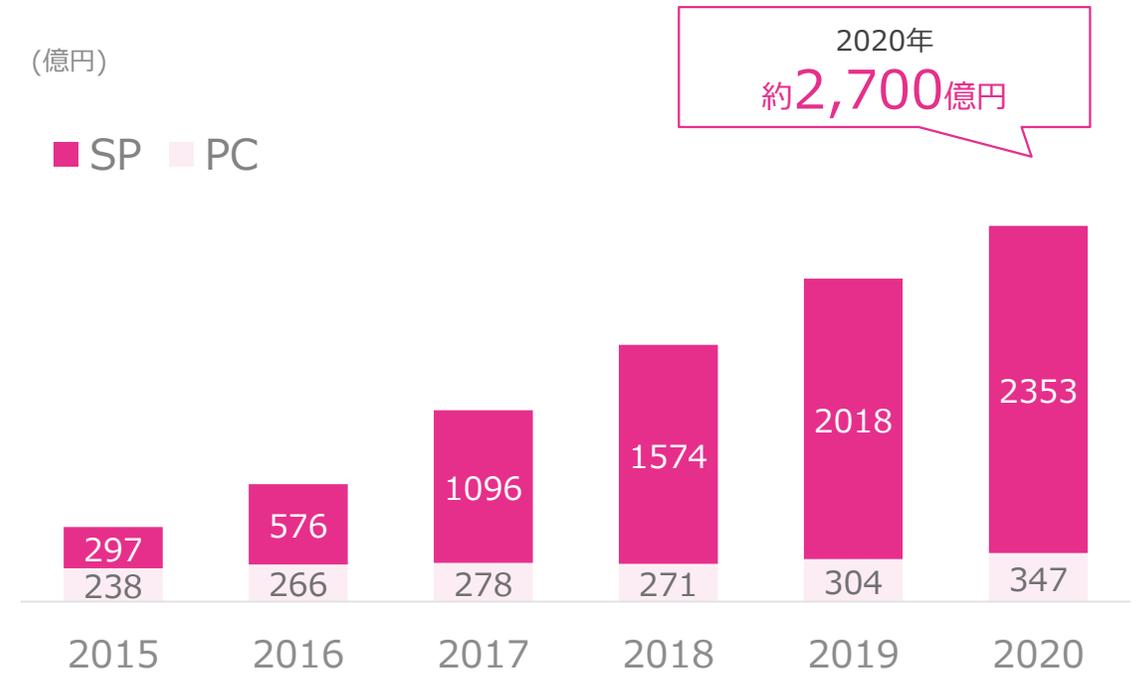
(億円)



出典：デジタルサイネージ市場に関する調査を実施（2017年）

動画広告市場

(億円)

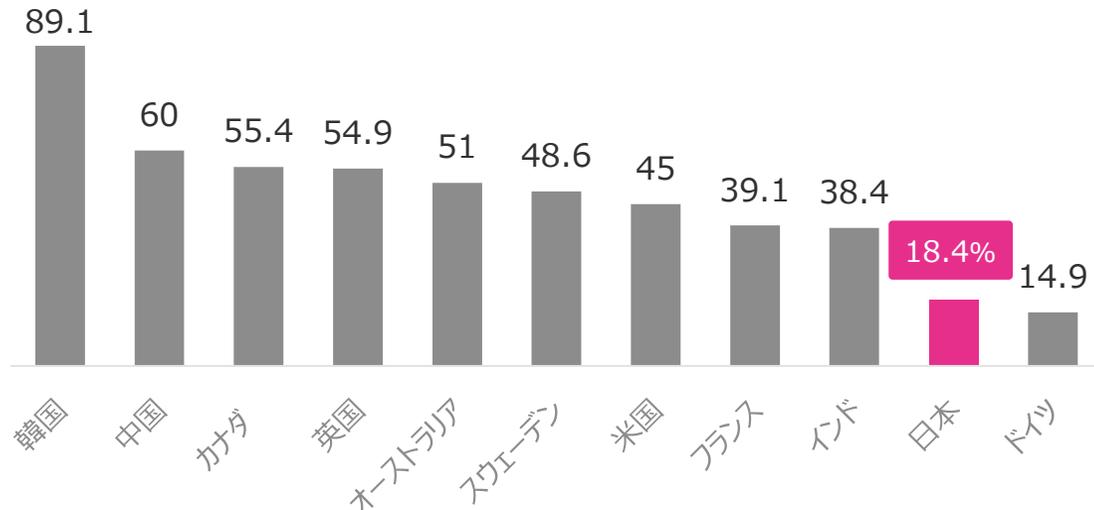


出典：サイバーエージェント、2017年国内動画広告の市場調査

5Gにより通信高速化、市場規模約6,000億円に挑む
約1,000万人のワーカースタッフを活用した大量動画制作および動画メディア事業

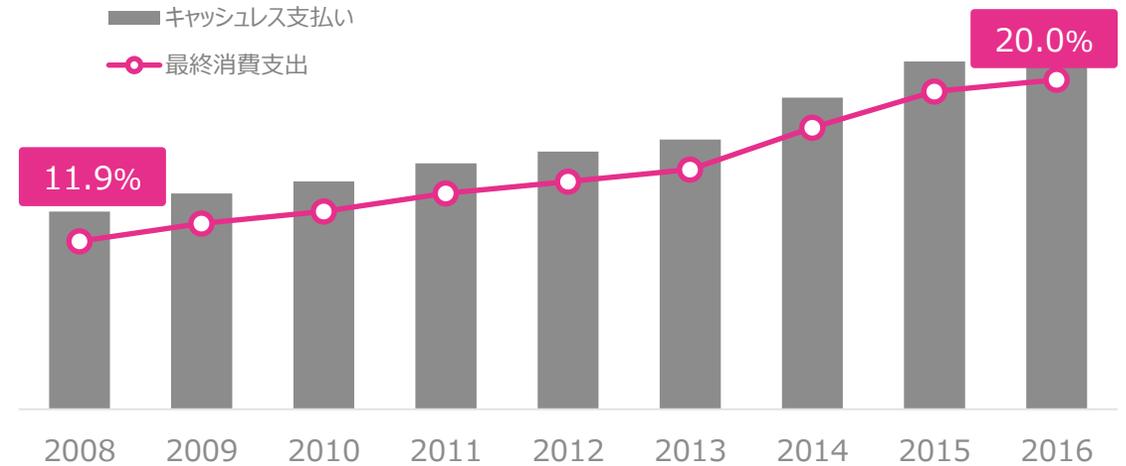
キャッシュレスに向けた時代の変化

各国のキャッシュレス決済比率（2015年）



出典：経済産業省（キャッシュレス・ビジョン）

キャッシュレス支払い額と民間最終消費支出に占める割合



出典：経済産業省（キャッシュレス・ビジョン）

その他の動き

インド高額2紙幣廃止1年、経済に打撃でも庶民の支持
(2017年11月)

消費増税時、2%分ポイント還元
(2018年10月)

QR決済の規格統一、年内にも行動指針 経産省
(2018年6月)

デジタルマネーで給与 厚労省、19年にも解禁
(2018年10月)

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。